

桜ずもう・観光促進委員会事業計画

桜ずもう・観光促進委員会 委員長 朝倉 新二郎

誰しもが生まれ育った地元にあ着を持っています。しかし、進学等による生活環境の変化で人口流出が続いている現状があります。ですが、私は自身を育ててくれたこの故郷が大好きで、今よりもこの地域を盛り上げていきたいという想いがあります。この地域には、白壁土蔵群、日本一美しい関金廃線跡、歴史ある桜ずもう、その他にも沢山の誇れる資源や文化があります。この魅力を地元の子どもたち、さらには他の地域に住んでいる方々に伝えるためには既存の情報を発信するだけでは不十分だと感じます。そこで、観光資源や歴史ある文化と、レクリエーションを掛け合わせることで、新たな価値観を生みだし、より関心を持ってもらう為に活動します。

まず、これからの未来を担う子ども達に向けて、青少年健全育成と琴桜の顕彰を目的とする第46回桜杯争奪相撲選手権大会を開催します。そして、今日に至るまで地域から愛され継続されてきた桜ずもうを次代に繋げていく為に、大会準備や会場設営、各役割等の問題点と向き合い解決策を探求し、より持続可能な事業へとブラッシュアップし続ける組織体制を構築します。この桜ずもうという歴史ある事業を通して、郷土愛を持った青年へと成長する為の一助となるべく邁進します。また、観光資源とレクリエーションを掛け合わせた事業を行い、新たな価値観を生み出し、観光の促進に挑戦します。さらに、ばえん祭や打吹まつり等の行事には奉仕の心をもって積極的に参加し、主催団体や地域の方々と活発なコミュニケーションを図り、率先して行動することで地域社会における倉吉青年会議所の存在感を高めます。

魅力ある地域とは、子どもたちの笑顔が絶えない場所だと信じています。この1年間の活動を通して、地域を盛り上げ、地元の宝である子どもたちに自分の住んでいる街が魅力ある故郷であると感じてもらいます。そして、中部の観光資源に目を向けた事業をすることにより新たな価値を探究し、創造することで地域に良い運動をおこし続ける組織へ成長します。

<事業計画>

1. 桜ずもうの運営に関する事項
2. わんぱく相撲全国大会に関する事項
3. 会員個々の指導力開発に関する事項
4. 観光促進に関する事項
5. ばえん祭に関する事項